



## PUBLIC WAY 2024-25

～社会正義への道～



株式会社パブリック

香川県観音寺市大野原町福田原241番地1  
TEL:0875-57-1200 FAX:0875-57-1201

<https://www.public-g.com>



PUBLIC-G



この印刷物は、環境にやさしい「ノンVOCインキ」と「FSC®認証材および管理材から作られた紙」を使用し、「水なし印刷」で製作しています。

2,000部作成のための総排出量 1,767.214kg-CO<sub>2</sub>e 1部あたり884g-CO<sub>2</sub>e  
この印刷物から発生するCO<sub>2</sub>はカーボン・オフセット・ジャパン(www.co.jp)を通じてオフセットされています。

## PUBLIC WAY 2024-25

～社会正義への道～



株式会社パブリック

# 「パブリック」とは“社会正義”という意味なんだよ。

元日本弁護士連合会会長  
中坊公平先生 談（1995年12月10日）

## Contents

編集方針／対象範囲／環境方針	01
トップ・コミットメント	02
【特集①】 ラブアースマインドプロジェクト	03
<b>I 環境マネジメント</b>	
会社概要・沿革／経営理念	05
認定・表彰	06
パブリック・グループ業務内容紹介	07
パブリック事業拠点と一般廃棄物対応エリア一覧／産業廃棄物許可一覧	09
パブリック事業所紹介	11
<b>II 環境負荷の低減</b>	
マテリアルバランス	15
産業廃棄物収集運搬(特管)と処分量取扱量	16
【特集②】 株式会社エコマスターの取組み	17
<b>III SDGs達成へ向けた取組みと報告</b>	
株式会社 パブリックSDGs宣言	19
SDGsの普及・実践	20
「脱・減炭素」～地域・お客様	21
「脱・減炭素」～会社として	25
生きがい・働きがい	26
CSRの実現	27
チャンスコール(クレーム)とその対応	29
編集後記／本報告書の作成について	30

## 編集方針

- 環境省の「2018年度版環境報告書ガイドライン」に沿って作成しております。
- 当グループの社会との関わりやコミュニケーションに重点をおくものとして、その取組を中心に掲載しております。

## 「PUBLIC WAY」の対象範囲

### 対象期間

2023年9月～2024年8月

但し行政報告数値などは2023年4月から2024年3月となっております。また、ユーティリティ数値およびそれに基づくCO<sub>2</sub>排出量の集計期間は該当ページに記載しております。

### 対象組織

株式会社パブリックおよびグループ会社、一部指定管理先および合同出資会社も含まれます。

### 報告範囲

当グループ事業における環境的側面と社会的側面についてご報告致します。

## 環境方針

### 1. 組織の目的、活動、状況、SDGsの推進

当社及び当社グループの廃棄物処理事業において、環境を大切にする当社経営理念に基き、環境に配慮した活動を展開します。

### 2. 環境目標の設定のための枠組

環境方針の達成、利害関係者のニーズ及び期待、当社事業をとりまくリスク及び機会等外部及び内部の課題を考慮した環境目標を設定し、意図した成果の達成に取組みます。

### 3. 汚染の予防、環境保護のコミットメント

廃棄物処理の事業活動にかかる環境影響を把握し、廃棄物の適正処理を推進し環境汚染の予防に努めます。廃棄物を資源としてとらえリサイクルを推進するとともに、燃料・電力等エネルギーの適正な使用に努め環境負荷の低減に取組みます。

### 4. 順守義務のコミットメント

廃棄物処理事業にかかる各種法令・条例・許可条件等を順守し、廃棄物の適正処理に取組みます。当社事業活動により環境への問題が発生しないよう地域の生活環境に配慮した事業活動を行い、地域社会の理解と信頼を高めるように努めます。

### 5. 継続的改善のコミットメント

環境目標の意図した成果への取組み評価を行い、環境パフォーマンスを向上させるために継続的な改善を行います。是正すべき問題点が発生した場合には、原因を究明し再発防止に取り組みます。

全従業員がこの環境方針の認識をもつよう伝達し、環境への意識向上を図り環境活動に取組みます。この環境方針は利害関係者等が入手出来るよう一般に公開します。

株式会社パブリック 代表取締役社長 川崎 佳日出

## Top Commitment トップ・コミットメント



株式会社パブリック 代表取締役会長  
**三野 輝男**

株式会社パブリック 代表取締役社長  
**川崎 佳日出**

### 持続可能な地域づくりへ

令和二年初頭から始まったCOVID-19の感染拡大、我々の生活に直面する物価高騰問題、そして地球温暖化とここ数年で大きく環境が変わろうとしております。

そのような中で私たちに求められているのは、現状の延長線上に将来を考えいく

「フォアキャスティング」ではなく、未来のあるべき姿を創造し、そこに至るための課題に挑戦する

「バックキャスティング」の発想ではないかと思われます。

「地球は未来の子供たちから借りている。」

を合言葉に次世代に良好な自然環境、生活環境、公衆衛生状態を残すためには、今、何をするべきかを的確に判断し行動していかなければなりません。

そのためには循環型社会の形成の実現、SDGsの推進が必要となり、

我々は、それを実現するための企業であり続けなくてはならないと考えております。

### 「企業は人なり」

企業も人との循環の中で成長し、健全な企業に健全な人が集まり更に健全な企業へと成長していく。

そうなれるよう努力を惜しむことなく、日々の精進をしてまいる所存であります。

今後とも、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

## 特集①

ラブアースマインド  
プロジェクト

# ラブアース マインド プロジェクト

## Message “メッセージ”

「ラブアースマインドプロジェクト」は、私たちが暮らす地球をこころから愛し、地球とのつながりを考える仲間たちの活動です。 「ラブアースマインドプロジェクト」の仲間たちが大切にしたいのは、地球の自然環境にとって良い活動をずっと続けること。私たちがふだん使う商品やサービスも、地球にとって良いことかどうか考えながら選び、身近な暮らしのなかで出来る、ちょっとした工夫を続けます。小さなことでも、一人ひとりが取り組めば、地球の大きな資源を未来に残すことができるのです。



<https://love-earth-mind-project.com/>



### 「海ごみゼロウィーク2024」への賛同と有明浜での清掃活動

私たちは、「海ごみゼロウィーク2024」(日本財団と環境省が推進)に賛同し、秋の全国一斉清掃活動キャンペーンに参加しました。有明浜(観音寺市)にて地元の子供たちと共に清掃活動を実施し、美しい瀬戸内の海を守り未来に引き継ぐための第一歩を踏み出しました。「ごみを拾う」という行動を通じて、子供たち一人ひとりの行動が海洋ごみ問題の解決や豊かな自然を守ることを実感できる貴重な経験を提供できたのではないかと考えています。今後もこういった活動を継続し、地域の方たちと共に自然環境を守り、未来につながる取り組みを進めてまいります。



### 創業50周年記念事業として観音寺市に「子どもの学び」に関する基金を寄付

当社は創業50周年という大切な節目を迎えることができました。これもひとえに、地域の皆様やお客様から長年にわたりご理解とご支援を賜ったおかげであり、心より感謝申し上げます。50年間のご支援への感謝の気持ちを込め、次世代を担う子どもたちの学びを支援するため、観音寺市に「子どもの学び」に関する基金を寄付いたしました。この基金は、地元の子どもたちが、平等に、さまざまな分野で学びを深め、豊かな未来を築くための資金として活用されることを願っています。地域の未来を担う子どもたちは、地元の活性化にとって欠かせない存在です。当社は、地域とともに歩む企業として、今後も子どもたちの成長を支援し、継続可能な社会の発展に貢献してまいります。



### クヌギの植樹活動で地域環境保全の取り組み

私たちの会社では、地域環境の保全と持続可能な未来のため、処分場周辺の土地に360本のクヌギの木を植樹しました。この活動には、近隣の小学生の皆さんにも参加いただき、環境保全の重要性について学んでいただけた機会になりました。植樹活動は、CO<sub>2</sub>の吸収源を増やす効果的な手段のひとつであり、地球温暖化の要因である温室効果ガスを減らすことに貢献します。地域の緑化運動を推進し、植林された樹木が成長することで気候変動の抑制にも役立つと考えています。今後も当社は、地域の皆様と連携しながら環境保全活動に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に向けた歩みを続けてまいります。



《28P》にも掲載しています!

### 「2050 三豊市カーボンニュートラルプロジェクト」への企業版ふるさと納税を実施

このたび当社は、創業50周年の記念事業の一環として、「2050 三豊市カーボンニュートラルプロジェクト」へ企業版ふるさと納税を行いました。「2050 三豊市カーボンニュートラルプロジェクト」は、三豊市が主導する温室効果ガス排出削減および吸収源対策を推進する取組みです。このプロジェクトは、地球温暖化や気候変動の抑制を目指し、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーを用いたエコまちづくり、環境保全に向けた教育・啓発活動、生物多様性の確保など、幅広い分野にわたる取り組みを行います。当社は、持続可能な社会の実現に向け、これからも地域社会との連携を深めながら、次世代へ継承すべき環境資源の保全に努めてまいります。



## 会社概要・沿革

会社名 本社 電話 資本金 グループ年商 従業員数 主な事業内容	株式会社パブリック 香川県観音寺市大野原町福田原241番地1 0875-57-1200 3,000万円 44億円 265名(内パート・アルバイト56名) 一般廃棄物収集・運搬・処分 産業廃棄物収集・運搬・処分 特別管理産業廃棄物収集・運搬 廃棄物再生利用 普通肥料生産	沿革	昭和48年 5月 一般廃棄物収集運搬業開始 昭和52年 7月 産業廃棄物処理業開始 平成 7年 1月 有限会社パブリック 設立 平成14年 8月 ISO14001認証取得 平成17年 4月 固形燃料化施設設置 平成17年 6月 木くず破碎施設 平成17年 7月 本部事業所を観音寺市大野原町移転 平成18年 8月 選別施設設置 平成18年 11月 松山事業所開設 平成19年 7月 四国中央事業所開設 平成19年 9月 株式会社パブリックへ商号変更 平成20年 3月 観音寺市指定管理者の受託業務 平成21年10月 高知営業所開設 平成25年 3月 エコアクション21認証取得 平成25年 7月 香川県 優良産廃処理業者認定 平成25年 9月 最終処分場(安定型)の許可 平成26年11月 愛媛県 優良産廃処理業者認定 平成26年11月 高松市 優良産廃処理業者認定 平成29年 3月 四国環境パートナーシップ(環境省) 平成30年 2月 香川県環境配慮モデル事業認定 令和 2年10月 経済産業省 地域未来牽引企業に認定 令和 2年10月 経済産業省 事業継続強化計画 認定 令和 3年 3月 優良事業所表彰(全国産業資源循環連合会) 令和 3年 4月 SDGs宣言 令和 4年 9月 丸亀リサイクルプラザ吸収合併
財務状況	財務諸表については「産業廃棄物処理業者の優良性の判断にかかる評価制度」に基づき、貸借対照表と損益計算書を産廃情報ネット※に公開しています。 ※ <a href="https://www2.sanpainenet.or.jp/">https://www2.sanpainenet.or.jp/</a>		

## 経営理念

### 信念

PUBLICとは社会正義なり。  
私達は社会正義[Public Way]を全うします。  
私達Public Manは人類として地球に生を受けたる事に感謝し、立派な日本人、社会人、企業人、家庭人一人の人間として、社会正義への道[Public Way]を目指す事を天命と自覚し邁進します。

### 我社の使命感(存在意義)

使命感「未来創造・ラブアースマインド-PUBLIC」 未来とは社会正義溢るる将来、未来を作り出します。地球を大切に思い、愛し、地球の静脈を守り、管理し、地球の最高の管理責任者である人類としての役割を全うする、立派な会社として社員を育て練磨し、お客様及びすべての関係者に愛され、頼りにされる会社になる事を天職と信じ、パブリックな会社になる事に邁進します。私達は地球静脈防衛軍!!

### 経営方針

私達は社会正義経営を約束します。  
私達は現在業務(地球静脈管理コストのマネジメント)を天職と信じます。社会性(天道)、人間性(人道)、経済性(營道)を保ちます。その道を極めた「極人軍団」を組織し、全員営業体制にてお客様を開拓し、そして守ります。最高の商品、サービスを低価格で提供すべくE.L.P(everyday low price)・E.L.C(everyday low cost)・E.H.M(everyday high management)を約束します。

### 行動指針

私達はPublic Manとして社会正義に基づきパブリックな行動をします。訓練、研修を怠らず、天を信じ、自己の能力を最大限に發揮し、周囲の人々を幸福にします。親孝行を忘れず、年長者を尊敬し、心と、体と、頭脳と、企業と、地球の健康に留意し、自己管理を徹底します。挨拶、返事、履物を揃える、元気なPublic Manになります。万事五分、人生五分を理解し、3C(チャンス、チョイス、チャレンジ)精神で断行します。

## 認定・表彰

### 「2050 三豊市カーボンニュートラルプロジェクト」企業版ふるさと納税

まちひとしごと創生寄付活用事業(企業版ふるさと納税)として「2050 三豊市カーボンニュートラルプロジェクト」に賛同し、寄付させていただきました。「2050 三豊市カーボンニュートラルプロジェクト」とは地球規模の課題である地球温暖化や気候変動に対処するためには、社会全体が協力し、温室効果ガスの排出削減と吸収源対策を行う必要があります。三豊市は2050年のカーボンニュートラルをめざし、「省エネルギーの推進」、「再生可能エネルギーによる創・省・蓄の推進」、「地球にやさしい交通まちづくりの推進」、「吸収源対策の推進」、「教育・啓発活動」、「生物多様性の確保」に積極的に取り組み、市民の暮らしを守り、子どもたちに自然豊かな未来をつないでいきます。(三豊市ホームページより)



### 令和6年8月 食品リサイクル肥料「リ・グリーン」、香川県「新事業分野開拓者」に認定!

このたび、弊社で製造している食品リサイクル肥料「リ・グリーン」が、香川県の「新事業分野開拓者」に認定されました。「新事業分野開拓者認定事業」とは、新商品の生産を通じて新たな事業分野を切り開く事業者を県が支援する制度です。「リ・グリーン」は、食品製造会社などから排出される「食品残さ・食品汚泥」と「剪定枝」などを混合し、食品リサイクル事業として製造された肥料です。食品廃棄物を有効活用し、肥料として再生させることで食品循環型社会の形成を目指しています。この取り組みは、資源の有効活用と廃棄物の削減を促進し、持続可能な社会の実現に大きく貢献するものとして評価されました。これからも「リ・グリーン」を通じて、地域社会と連携しながら環境負荷の低減と循環型社会の構築に取り組んでまいります。



### 「健康経営優良法人」に認定されました

このたび、当社は「健康経営優良法人」に認定されました。この認定は、従業員の健康保持・増進に向けた取り組みが評価されたものです。具体的には、健康診断の受診率向上や生活習慣病予防検診の推進、全従業員を対象としたインフルエンザ予防接種の実施などを進めてまいりました。また、ストレスチェックや個別面談、栄養士による食生活指導の導入など、心と身体の両面から健康を支える取り組みを展開しています。「企業は人なり」という言葉が示す通り、従業員一人ひとりの健康が保たれてこそ、私たちの企業活動はスムーズに進みます。当社では、病気を予防するための取り組みや、病気の早期発見・早期治療を可能にする仕組み作りをさらに強化してまいります。これからも従業員が安心して働く環境を整え、「健康経営」を通じて持続可能な成長を目指してまいります。



### 観音寺市へ子どもの学びに関する基金として寄付

これまで50年間、地域の皆様にご支援いただいたお礼の気持ちを込めて、子どもたちの学びに活用いただく基金を用意させていただきました。次世代を担う子どもたちは、地元の活性化には欠かせない存在です。子どもたちが、誰もが平等に、より広い分野で多くのことを学んでいただけるよう、地元行政に活用していただければと思っています。



# パブリック・グループの業務内容紹介

## 収集運搬

一般廃棄物の許可エリア、所有する車両台数などは四国最大級を誇る当社はサービスでもナンバー1を目指しております。産業廃棄物では常に新メニューを取り入れ多種多様なメニューを準備しており、状況に応じた適切な対応が可能となっております。

### PSSMD(パブリック・スーパー・セールス・マネジメント・ドライバー)

教育や添乗指導、検定制度など、運搬のサービス面の強化に努めています。



コンテナ脱着車  
(大型)9台 (4t)12台 (2t)7台

塵芥車  
(大型・増トン)14台 (中型)48台車

医療廃棄物収集車  
(中型)12台 (小型)8台

バキューム車  
(大型)1台 (中型)2台

## マンション等の維持管理工事レスキュー対応



維持管理工事  
集合住宅などの共有スペースの剪定作業や草抜き、害虫駆除や清掃、電球交換等の維持管理の工事を行っております。

原状回復工事

引越しなどにより入居者が退去された後の部屋を入居前の状態に施工する工事です。次に入居される方が気持ちよく生活できるように細かなところまで気配って作業を行います。

## エコステーション提案・管理

スーパーの駐車場や公共施設等に市民の皆様がいつでも利用できる資源回収スポットです。古紙や空缶、ペットボトル等の資源を回収再資源化します。回収ボックスを設置するだけの簡易タイプからポイント券も発行できる機材を設置したタイプまで、お客様のニーズにお応えいたします。



施設の設置からメンテナンスまでお任せください。

## 一般廃棄物収集運搬

四国全域で60台を超える車両が、365日休まずにゴミを回収しております。約4000件にものぼるお客様のニーズにお応えできるよう、PSSMD教育を受けたドライバーがお伺いします。

## 産業廃棄物収集運搬

産業廃棄物から感染性廃棄物やPCB廃棄物、廃石綿などの特別管理産業廃棄物の収集運搬許可を取得しており、さまざまな車両を用いて、多彩な状況に適切かつ迅速な対応をいたします。

## 一般・産業廃棄物処分業／リサイクル

ご紹介している業務の他、様々な品目や処理方法に対応しております。



選別処理施設

不燃選別施設

固形燃料製造・販売

食品リサイクル

最終処分場(安定型埋立地)

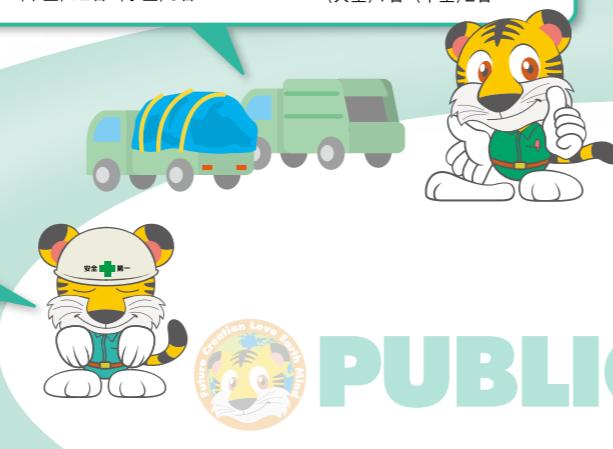
草木・木くず破碎施設

## チェーン店等の複数拠点の廃棄物一元管理

複数拠点の廃棄物の窓口が、一つになることで事務作業等の効率化、コストカットに。電子マニフェストの代行入力システムも整備、コンプライアンス面もサポートします。

## エコマスター

パブリックとエビス紙料の共同出資による(株)エコマスターの「バイオマス資源化センターみとよ」では、三豊市内で発生する一般廃棄物の燃やせるごみおよび産業廃棄物を微生物で発酵乾燥させ、最終的に固形燃料にリサイクルします。環境省から補助金を受けて整備を進め、平成29年より稼働を開始しました。日本初のリサイクル技術で低炭素社会に貢献します。



**PUBLIC-G.COM**

優良  
株式会社パブリック

株式会社エコマスター

(有)ヴェイン



萩の湯

## 計量証明事業

有限会社ヴェインは、自然環境と人間が共生する循環型社会を目指す一環として、平成18年に香川県知事登録を受け、計量証明事業を立ち上げました。(環境第23号)各種工場の排水・工程水、浄化槽排水、最終処分場などの様々な水の分析を行っています。また廃棄物の性状検査・有害物検査・土壌検査・ダイオキシン類測定・河川調査なども取り扱っています。



## 吸引・高圧洗浄作業

ご紹介している業務以外にも様々な車輌、設備を用いて排水周りの業務に対応しております。ご相談ください。



吸引作業

バキューム車を使って排水管や工場ブル、貯水池などに溜まった汚泥・汚水・産業廃液などを吸引し清掃・運搬します。また、店舗様のグリストラップや排水溝の清掃なども承っております。

## 指定管理業務

観音寺市の健康交流施設おおのはら「萩の湯」の指定管理業務を行っております。人気の薬湯を始め、毎日色が変わる露天風呂、2種類のサウナ、電気風呂などたくさんのお風呂の中から用途に合わせて選んでいただけます。また、ゲームコーナーや休憩室、酸素ボックスなども設置しており、お年寄りから小さなお子様まで楽しんでいただける交流施設となっております。







様々なお客様のニーズにお応えします。

# パブリック事業所紹介!!

PUBLIC GROUP NETWORK



## 本社

本社の固形燃料化施設の拡張工事をおこない、施設内3基での製造能力が日量24tアップしました。より高品質の製品製造を目指し、廃プラスチック類などのリサイクル率アップに努めてまいります。



固形燃料化施設



本社



### 【固形燃料化施設】

- 設置場所：香川県観音寺市大野原町福田原241番地1
- 処理能力：〈成形機1号機〉48t／日(24時間)  
〈成形機2号機〉36t／日(24時間)  
〈成形機3号機〉48t／日(24時間)
- 設置年月日：〈成形機1号機〉令和2年1月7日  
〈成形機2号機〉平成27年5月27日  
〈成形機3号機〉令和2年1月7日

### 【処理する産業廃棄物の種類】

- 廃プラスチック類 ●紙くず ●木くず ●繊維くず  
●ゴムくず

## 高松事業所

高松事業所は高松市北西部に位置し、高松市及び東讃、中讃地域の一般廃棄物の収集運搬業務、産業廃棄物の収集運搬処理業務を行っています。また、廃棄物のお持ち込みも少量からでも承っております。廃棄物の事でお困りでしたら、ぜひ一度ご相談ください。従業員一同明るく、元気でお待ちしております。



高松事業所



所長／林 修さん

### 【選別施設】

- 設置場所：香川県高松市香西本町1番122
- 処理能力：120m<sup>3</sup>／日(15m<sup>3</sup>／時間×8時間)
- 設置年月日：平成30年9月28日

### 【処理する産業廃棄物の種類】

- 廃プラスチック類 ●紙くず ●木くず ●繊維くず  
●ゴムくず ●金属くず  
●ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず  
●がれき類



選別施設



ハッパー減容機



蛍光灯破碎機

## 丸亀事業所

中讃地区の拠点として地域の事業系一般廃棄物の収集運搬と産業廃棄物の収集運搬、持込みの受入を行っております。丸亀事業所は持込のお客様の搬入量は弊社内でも一番多く月間で自社運搬と合わせて1,000tを超えることもあります。また集めてきた不燃ゴミ(缶、びん、ペットボトル)を選別しリサイクルする施設では、夏場にはピークを迎えます。忙しい中でも常に安全、遵法に気を配り操業して参ります。



丸亀事業所



所長／横山 昌昭さん

### 【不燃ごみ選別施設】

- 設置場所：香川県丸亀市土器町北二丁目17番
- 処理能力：〈破砕施設〉4.8t／日(8時間)  
〈圧縮施設①〉1.84t／日(8時間)  
〈圧縮施設②〉4.0t／日(8時間)
- 設置年月日：〈破砕施設〉平成30年11月30日  
〈圧縮施設①〉平成30年11月30日  
〈圧縮施設②〉令和6年6月27日

### 【処理する産業廃棄物の種類】

- 廃プラスチック類 ●金属くず  
●ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず  
●ガラスくず
- 金属くず  
●廃プラスチック類(ペットボトルに限る)

## 観音寺事業所

グループ創業の地でもあり、現在は観音寺市、三豊市の事業系一般廃棄物収集運搬および観音寺市からの収集委託業務の拠点となっております。その他、不燃ごみの分別作業や電池選別処理なども行っております。



観音寺事業所



観音寺、四国中央所長 兼任  
山本 洋一さん



### 【電池選別施設】

- 設置場所：香川県観音寺市三本松町三丁目9番8号
- 処理能力：2.4t／日(8時間)

### 【処理する産業廃棄物の種類】

- 汚泥(乾電池に限る) ●金属くず

## 四国中央事業所

事業所は四国中央市のほぼ中央部の海岸沿いに位置しており四国中央市と新居浜市の事業系一般廃棄物の収集運搬業を行っております。また、産業廃棄物の中間処理施設もあり、主に東予地区の工場や工事現場、事務所などから出た廃棄物の持込みにも対応しております。



四国中央事業所

- 設置場所：愛媛県四国中央市寒川町2597番地
- 処理能力：〈切断施設〉12.8t／日(8時間)

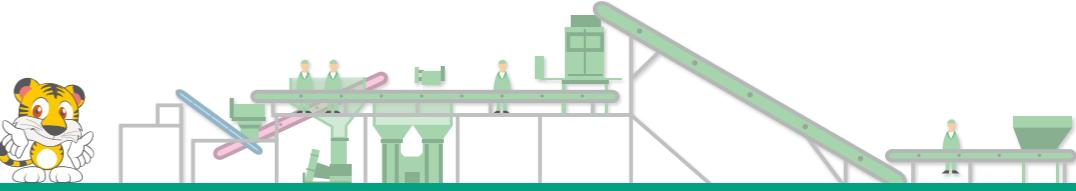
### 【処理する産業廃棄物の種類】

- 廃プラスチック類 ●紙くず ●木くず ●繊維くず  
●ゴムくず ●金属くず  
●ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず  
●がれき類



様々なお客様のニーズにお応えします。

# パブリック事業所紹介!!



PUBLIC GROUP NETWORK

## 松山事業所

四国最大のまち松山市の西部、松山空港の近くに立地し、松山市の事業系一般廃棄物の他、中予、南予地区のお客様にも幅広く対応しております。人口も多く、競争も激しい地域ではありますが、どこよりも早くお客様のニーズにお応えできるよう心掛けております。



松山事業所



所長／河内 則和さん

- 設置場所：愛媛県松山市南吉田町2369番地1
- 処理能力：(圧縮・梱包)4.8t／日(8時間)

### 処理する産業廃棄物の種類

- 廃プラスチック類
- 紙くず
- 繊維くず

## 三豊オーガニックステーション



三豊オーガニックステーション



堆肥化



食品選別施設

- 設置場所：香川県三豊市高瀬町佐股356番地2
- 処理能力：(堆肥化①)20t／日(8時間)  
(堆肥化②)16t／日(8時間)  
(発酵乾燥)6.94t／日(8時間)  
(選別施設)40t／日(8時間)

### 処理する産業廃棄物の種類

- 汚泥
- 廃油
- 廃酸
- 廃アルカリ
- 木くず
- 動植物性残渣
- 動物のふん尿
- 木くず
- 廃油
- 廃酸
- 廃アルカリ
- 木くず
- 動植物性残渣
- 動物のふん尿
- 木くず
- 動植物性残渣
- 動物のふん尿
- 汚泥
- 廃油
- 廃酸
- 廃アルカリ
- 木くず
- 動植物性残渣
- 動物のふん尿
- 汚泥
- 廃油
- 廃酸
- 廃アルカリ
- 廃プラスチック類
- 金属くず
- 動植物性残渣
- ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず

## 徳島事業所

吉野川市の東部、鴨島町に事務所があり吉野川沿いを中心に徳島県全域の廃棄物収集に対応しております。主には一般廃棄物と資源ごみの収集になりますが、産廃車両も保有しており、コンテナ業務やバキューム車による吸引作業など幅広く行っております。その他、大型ショッピングモールの中でごみの分別作業や資源回収なども行っております。



徳島事業所



所長／三木 克彦さん

- 設置場所：徳島県吉野川市鴨島牛島1905番地



## 三豊工場

三豊市財田町にある敷地面積は40,000m<sup>2</sup>を超えるリサイクル工場で、主に建設工事や解体工事の現場から発生する木くずおよびコンクリートガラを取り扱っております。木くずは破碎して木質燃料チップや再生木材の原料としてコンクリートガラは道路の路盤材等にとほぼ100%リサイクルされています。



再生碎石



木くず破碎施設

- 設置場所：香川県三豊市財田町財田中吉田  
(破碎施設①)1,040t／日(8時間)  
(破碎施設②)97.44t／日(8時間)

### 処理する産業廃棄物の種類

- ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
- がれき類
- 木くず

## 高知事業所

高知県内のお客様の産業廃棄物及び資源ごみの回収を行っています。また、スーパー・マーケット様では店内から出るごみの分別作業やペットボトルや古紙、ダンボールなど資源ゴミの分別回収にも力を入れています。



高知事業所



所長／門脇 徹さん

- 設置場所：高知県高知市高須三丁目1番61号



## 株式会社エコマスター

(株)パブリックとエビス紙料(株)の合同出資会社である(株)エコマスターはバイオマス資源化センターみとで、三豊市の一般廃棄物を固形燃料化するトンネルコンポスト方式の処理を行っています。燃やせるごみを燃やさずにリサイクルできるため全国の自治体など様々なステークホルダーから注目を集めています。脱炭素/SDGsに寄与する当方式の施設をぜひ一度ご見学ください。



センター長／森脇 英二さん

- 設置場所：香川県三豊市山本町神田30番地1

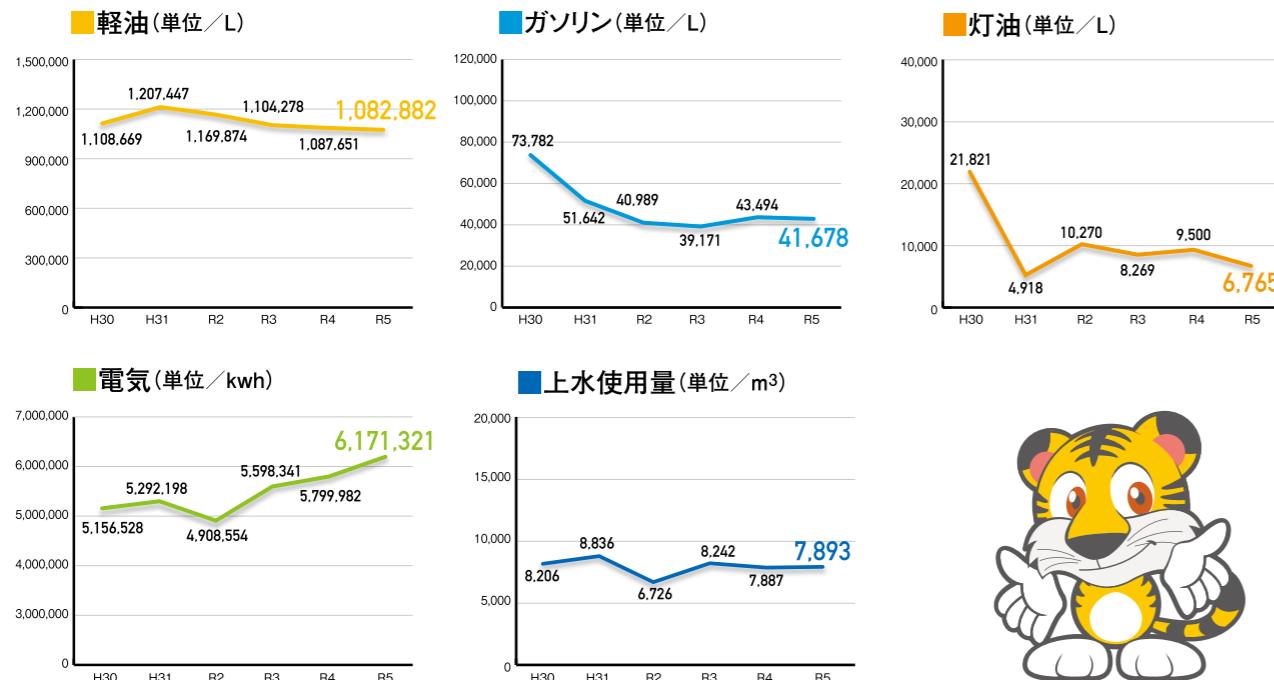


バイオマス資源化センターみとよ

## マテリアルバランス

パブリック・グループの事業活動である収集運搬・中間処理およびオフィス等で使用した資源のinputと環境への排出量outputを表しています。

集計期間  
 ■燃料使用量／令和5年4月～令和6年3月までの集計  
 ■電気使用量／令和5年4月～令和6年3月までの集計  
 ■水道使用量／令和5年4月～令和6年3月までの集計



※集計方法の変更により一部数字が変動しております。

## オフィスでの環境活動

オフィスでもできる環境取り組みとして、電力の削減を課題として事務所内蛍光灯をLEDにすることで大幅な電力削減が見込まれます。その他にも全事業所の蛍光灯にブルスイッチを設置しました。また、TV会議システムを導入することにより、会議等による事業所間の移動を減らしCO<sub>2</sub>の削減とコストダウンにも成功しました。そのほかオフィス内では、ごみの12分類分別や緑化活動にも取り組んでおります。



## 産業廃棄物収集運搬(特管)と処分量取扱量

令和5年4月1日～令和6年3月31日まで  
※代表的な施設のみの掲載しております。



産廃・  
特管運搬量 **46,836t** | 産廃処分量 **50,252t**

## 株式会社エコマスターの取組み紹介

今年もたくさんの方が  
ご来場くださいました!小学生の社会見学にも  
対応しています!バイオフィルターの  
臭気も体験

## 講演／展示活動

## ①「2024 NEW環境展」に出演しました

2024年5月22日から24日まで、東京ビッグサイトで開催された「2024NEW環境展」に出演しました。会場には3日間で9万2千人の来場者があり、エコマスターのブースにも連日多くの方が来られるなど盛況のうちに終わりました。今回も多くの方に好気性発酵乾燥方式を知っていただけて成果を感じました。



会場の東京ビッグサイト

展示ブースにて多くの来場者に説明しました

## ②「令和6年度第45回廃棄物処理施設技術管理者中央研究集会」で講演

一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会主催の令和6年度第45回廃棄物処理施設技術管理者中央研究集会「循環経済への移行 廃棄物処理のX(変革)を考える」が11月13日に行われました。講演内容は三豊市市民環境部環境衛生課と共同で作成しました。三豊市から「日本初の方式採用について様々な課題があつたが、多くの方の支えがあり脱焼却・脱炭素を実現することができた。リサイクル率も高く、まさに廃棄物処理の変革といえる。」とコメントをいただいております。



講演の様子

## 研究活動

## ①廃棄物資源循環学会発表

2024年5月30日から31日にかけて川崎市産業振興会館で行われた廃棄物資源循環学会春の研究討論会(エネルギー資源学会と共に)の環境学習施設研究部会で発表を行いました。基調講演では「どんな施設(工場)見学していますか」というテーマで、4施設が登壇。弊社もその1つとして発表しました。発表後のパネルディスカッションでは見学において最も大切にしていることなど議論されました。弊社は三豊市および地域の子供たちに、ごみを燃やして終わりではなくエネルギーとして当たり前のように利活用していることをお伝えしています。これが次世代の新しい価値観を創出することに貢献していると考えます。また、9月9日から11日にかけてつくば国際会議場で行われた同学会第35回研究発表会にて、環境学習による取組をポスター発表しました。多くの方がポスターの前で足を止めて見ていただくことができました。



実験の様子



固形燃料を手にする大手前丸亀高校の生徒さん

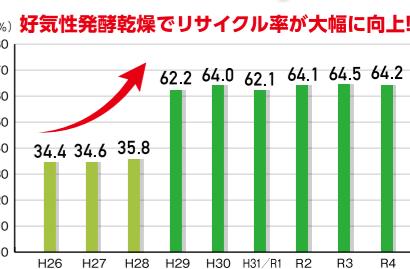
## 見学来場対応

バイオマス資源化センターみとよ▶

今年も日本初の好気性発酵乾燥方式によるリサイクルを見るために多くの方がバイオマス資源化センターみとよに来場されました。当施設はパブリックとエビス紙料株式会社が共同出資した株式会社エコマスターが運営しています。三豊市の家庭などから出る燃やせるごみを微生物の力で発酵乾燥し、紙やプラスチックを取り出し固形燃料にする画期的リサイクル方法で、多くの自治体様の注目を集めています。今年は研修室の壁に装飾を行い、見学者からも明るくて良いと評判です。



研修室(before)

研修室(after)  
壁もきれいになりました!三豊市のリサイクル率  
向上に貢献しています!

## 掲載／紹介

## ①総合情報発信サイト「earth-ism」様

環境のことのみならず、ファッショングや美容、食品・食材など多彩な情報を発信されている「earth-ism」様のsustainability記事として紹介されました。技術開発苦労話などがあります。ぜひご覧ください。



サイトはこちら



## ②環境コンテンツサイト「あわいひかり」

株式会社北四国グラビア様が運営されている、地球に地域に人にいいことを発信する「あわいひかり」で、環境に優しい燃やさないごみ処理として紹介されました。プロのカメラマンに施設やごみまでもきれいに撮影していただきました。ぜひご覧ください。



サイトはこちら



## ③JRT四国放送様

取材を受け、「新ごみ処理施設に導入予定の好気性発酵乾燥方式とは?そのメリットとデメリットは?」という内容でニュースにとりあげていただきました。近い将来同じような施設ができることがあります。



サイトはこちら



## 株式会社 パブリックSDGs宣言 (2021年4月よりSDGs宣言)

2021年の4月より、パブリックにおきましてSDGs宣言をいたしました。昨今、様々なところでSDGsという言葉を耳にするようになりましたが、我社におきましても、山積する環境問題への対応や地域社会への貢献、そして循環型社会のいち早い実現を目指すために宣言をすることとなりました。社員一同、目標を達成し続けられるよう努力してまいります。



2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

### SDGsとは

2015年に国連サミットにおいて、「我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ(原文:Transforming our world : the 2030 Agenda for Sustainable Development)が採択され、17のゴール(目標)と169のターゲットから成る「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」が策定されました。2030年までの国際社会全体の開発目標で「誰一人取り残さない、社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組む」ことを目標としています。

〔総務省ホームページより抜粋〕

### SDGsへの取組み

SDGs	テーマ	取組事項
4 教育をなくす 11 気候変動に 12 つくる責任 13 経済をくらす 14 海の豊かさを 15 陸の豊かさも 16 平和と公正を 17 パートナーシップで	SDGsの普及・実践	工場見学や職場体験の受け入れを通じて、地域社会にSDGsの学びの場を提供します。地域社会とともにSDGsを実践し、地域未来牽引企業としての役割を果たします。
7 太陽エネルギー 12 つくる責任 13 経済をくらす 14 海の豊かさを 15 陸の豊かさも 16 平和と公正を 17 パートナーシップで	「脱・減炭素」～地域・お客様へ～	リサイクルの推進を実施し、化石燃料等の代替燃料(RPF)製造に努めます。総合エネルギー効率の向上と化石燃料削減によるCO <sub>2</sub> 削減にて「脱・減炭素」を支援いたします。
7 太陽エネルギー 11 気候変動に 12 つくる責任 13 経済をくらす 14 海の豊かさを 15 陸の豊かさも 16 平和と公正を 17 パートナーシップで	「脱・減炭素」～会社として～	車両について、ハイブリッド車等の増車・導入を推進いたします。電力の自家発電消費(クリーンエネルギー)を検討し、「脱・減炭素社会」の実現を目指します。
3 すべての人に 4 教育をなくす 5 ジンバーバ等を 実現しよう 6 安全な水とトイレ をみんなに 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 8 働きがいと 経済成長 9 地域と技術革新の 基盤をつくろう 10 人や国の不平等 をなくす 11 気候変動に 12 つくる責任 13 経済をくらす 14 海の豊かさを 15 陸の豊かさも 16 平和と公正を 17 パートナーシップで	生きがい・働きがい	業務別・階層別の研修体系を整備し、年齢・性別を問わず多様な人材が輝ける機会と場所を提供します。社員一人ひとりの生きがいと働きがいを尊重して参ります。
11 気候変動に 13 経済をくらす 17 パートナーシップで	CSRの実現	地域活動への積極的参加を通じ、地域住民との関係を深めます。BCP策定や事業で得た知恵と技術を活かすことで、地域住民とともに「住み続けられるまちづくり」に努めて参ります。

2030年頃、「PUBLIC WAY」と「SDGs」を実践し、豊かな未来を創出する。

## SDGsの普及・実践



### 観音寺市立栗井小学校の4年生が工場見学

令和5年12月 地元の観音寺市にある観音寺市立栗井小学校の4年生が環境学習で工場見学にいらっしゃいました。10数名の少人数ではありましたが、みなさん元気で熱心に話を聞き、質問も時間が足らなくなるくらいたくさんしてもらいました。施設の見学の際にも色々なところに興味を持っていただき、質問が飛んでいました。未来のために自分たちがこれからできることも考えてもらい、良い環境学習になったのではないかと思います。



### 丸亀市立南中学校の生徒さんが丸亀事業所に職場体験

毎年、この時期に丸亀市立南中学校の生徒さん数名が、弊社の丸亀事業所に職場体験にいらっしゃいます。数多くある企業さんの中から決してかつこよい仕事ではなく、むしろ嫌がられる仕事の弊社を選んでもらえることは大変光栄に感じております。今年は2名の男子生徒さんに2日間不燃ごみの選別体験をしてもらいました。体験終了後には御礼のお手紙までいただき、弊社社員も元気をいただきました。この体験が必ず両名の将来に役立つこと信じております。



生徒さんからの御礼のお手紙

### 香川西高校の生徒さんがリサイクル施設見学

令和5年12月、三豊市にある香川西高校の生徒さんがSDGsの学習の一環で弊社の取組みとリサイクル施設の見学いらっしゃいました。最初にパブリックが取り組んでいるSDGsの活動や考えを説明し、その後、工場で廃棄物が人の手によってリサイクルできるものとできないものに選別され、選別された原料から固形燃料が製造されるまでの工程と出来上がった製品を手に取ってみもらいました。最後にみなさんからSDGsに対する考え方や自分たちができることなども語っていただき、より理解を深めてもらえたと感じました。



# 「脱・減炭素」～地域・お客様～

## リサイクル処理

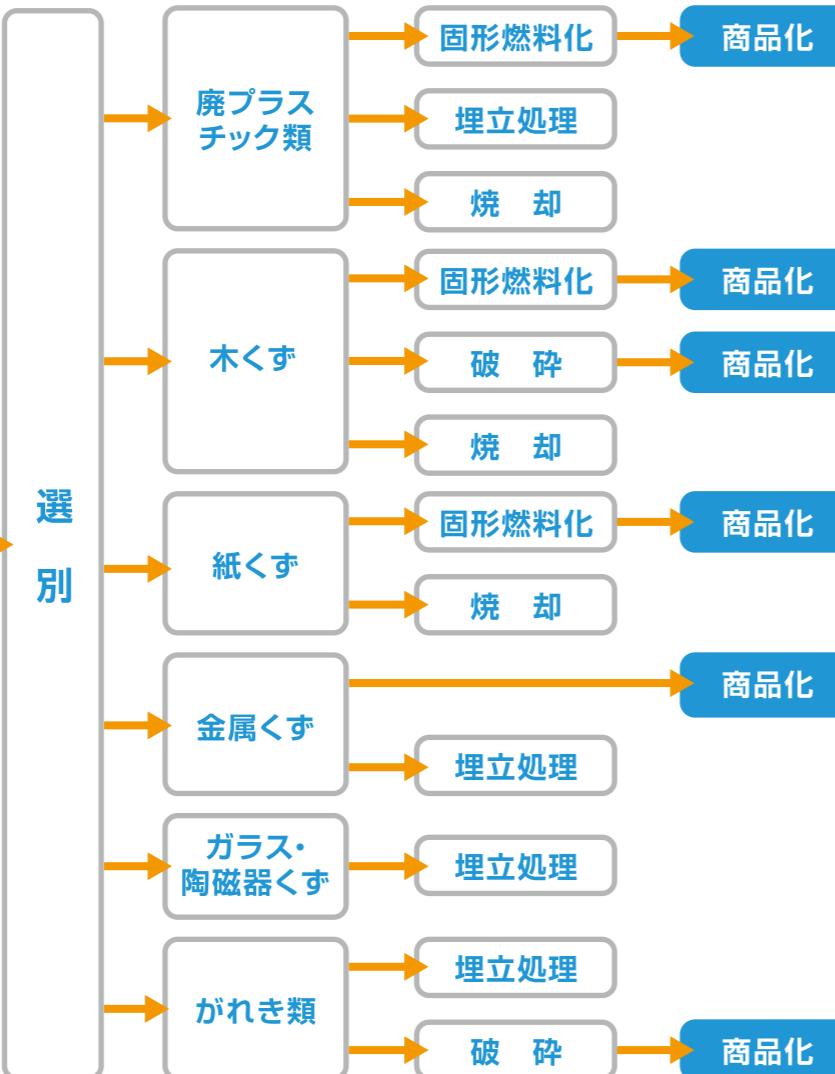


排出事業者様からお預かりした廃棄物を選別し、少しでも多くリサイクルにできるよう日々努力しております。廃プラスチック類や紙くずは固体燃料に、木くずや草木は木質チップや再生木材の原料に、生ごみなど食品残渣は肥料にと総合エネルギー効率の向上と化石燃料削減によるCO<sub>2</sub>削減にて「脱・減炭素」を支援しております。ここでは、弊社のリサイクル処理をご紹介します。

### 《選別》

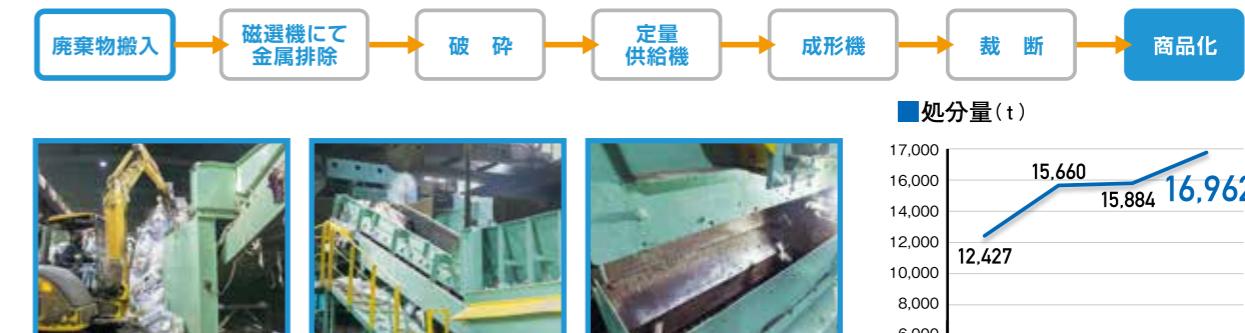
リサイクル処理を行うにも適正処理を行うにもこれらの混合廃棄物を品目別、または処理別に選別する必要があります。

#### 廃棄物搬入



### 《固体燃料化》

石油由来であるプラスチック類や紙くず、木くずなど燃焼性に優れた廃棄物を主原料として固体燃料を製造しリサイクルしています。固体燃料は石炭やコークス等の化石燃料に変わる代替え燃料として、資源の有効利用と低炭素社会の実現へ貢献します。



### 《木くず》

家屋の解体工事や街路樹の剪定、台風などの災害による倒木で発生する廃棄物の木くずを破碎処理します。最後は木材チップとなり、大きさごとに選別され、紙、燃料、建築資材などにリサイクルされます。



### 《不燃ごみ》

スーパーやコンビニから集めてきた不燃ごみをペットボトル、スチール缶、アルミ缶、びん、その他プラスチック類に選別し、リサイクルします。不燃ごみを分別することで資源化できる施設です。



### 《ハッポー》

収集してきたハッポースチロールを熱により減容処理後成型しインゴッドとしてハッポースチロールの原料としてリサイクルされます。

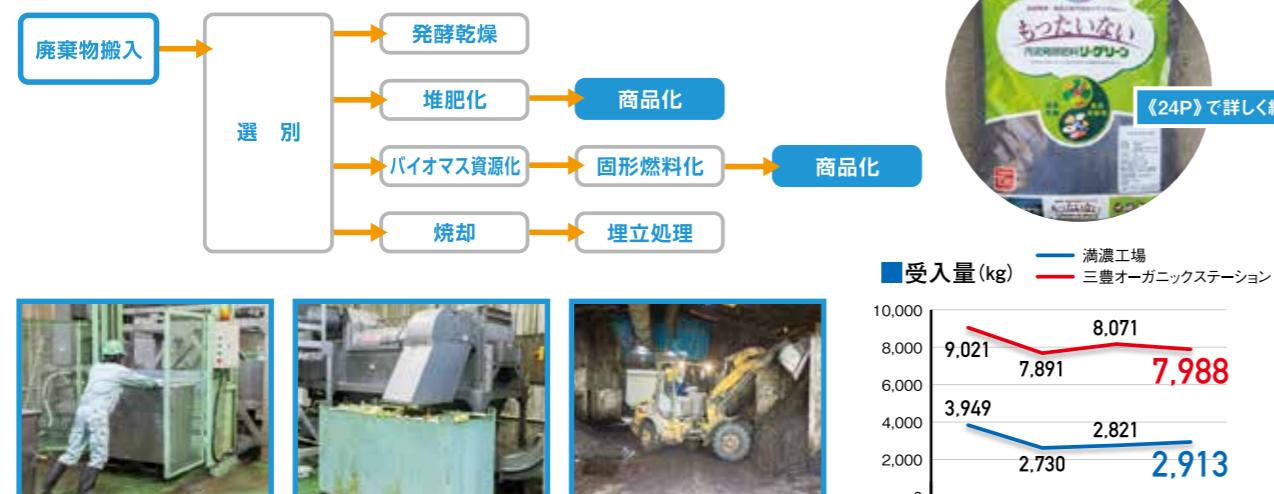


# 「脱・減炭素」～地域・お客様～



## 食品リサイクル

弊社では、三豊オーガニックステーションに自動選別機を導入し、廃棄製品の投入から選別までの作業を自動化することができました。また、堆肥化施設が敷地内に併設されているため、運搬効率もあがり処理能力の向上と作業負担の軽減などによる作業環境の改善にもつながりました。最近では食品ロスについても大きな問題になっており、多くの企業様から取引条件として食品リサイクル施設が整備されていることが条件として上がることも多くなりました。大手スーパー・マーケットやコンビニチェーン様などは独自のルートを構築し、食品リサイクルループを完成させている企業様もございます。弊社とともに、四国では食品循環資源リサイクル(リサイクル・ループ)のパイオニアとして、より一層リサイクル業務に取り組んで参りたいと思います。



## 《法令遵守》

弊社の食品リサイクル工場では、搬入された廃棄製品を自動選別機にて食品残渣と容器類に選別し、選別された食品残渣は発酵乾燥され堆肥化工場に、容器類は固体燃料化処理等適正に処分しております。また、廃棄物処理業者による廃棄食品の横流し事件がありましたら、私ども工場ではこのような事を起こさないよう24時間カメラにて現場を監視しております。



## 《もったいない 汚泥発酵肥料 リ・グリーン》

食品循環資源を有効活用したリサイクル肥料です。土壤の改善をし、野菜や果物の成長を促します。袋詰め製品、バラの配達承ります。

**特徴**

動植物性残渣・食品工業汚泥バーク・粉殻を利用したミネラル分豊富な肥料です。また通気性・保水性・保肥力に富み、地力の増進及び土壤改良効果を發揮します。特に葉物野菜のキャベツやレタス等に最適です。当社ファームで栽培しているみかんも好評を頂いております。

**成分**

■ 硝素全量(%)	1.9
■ リン酸全量(%)	0.8
■ 加里全量(%)	0.9
■ 炭素窒素比(C/N比)	9
■ 水分(%)	41.8
■ 有機物含有量(%)	51.0

**施用量**

1袋:40L / 15kg入り	
■ ハウス温室	3/4袋
■ 蜜地作物・家庭菜園	1袋
■ 鉢物	20%



## 《パブリック・オーガニックファーム》

パブリック・オーガニックファームは、「もったいない 汚泥発酵肥料 リ・グリーン」の試験農場として2009年よりスタートしました。広さは約7000m<sup>2</sup>あり、四季を通じて、様々な野菜や花卉・果樹を栽培しています。収穫された野菜などは弊社指定管理の「萩の湯」などで地元の皆様に提供させていただいております。



いろいろな野菜や果物、植物を栽培しております。



## 「脱・減炭素」～会社として～



### ■ローカルSDGs四国(LS四国)

ローカルSDGs四国(LS四国)とは、環境省中国四国地方環境事務所四国事務所や四国4県の行政が“四国の地域課題を解決し、持続可能な地域づくりを進めていくために、「地域循環共生圏=ローカル SDGs」の達成に向けた取組を推進するプラットフォームとして2021年に設立されました。「LS四国」は、魅力ある地域を四国各地で創っていくために、産・学・官・金・民のあらゆる関係者が学び合い、支え合う場として活動されています。



#### 2023年、パブリックの下記の取り組みが認められ審査員特別賞をいただきました!

- 廃棄物収集や営業所のハイブリッド化
- 電動重機の導入
- 使用電力を再生エネルギー由来のものに代替え
- 廃プラスチック類などを原料とした固体燃料の製造
- 食品廃棄物の堆肥化



### ■電動重機の導入

バッテリー式(電動)重機を導入する事で、化石燃料の使用削減および排気ガスの問題がクリアできます。現在は四国中央事業所のフォークリフトのみですが、今後各事業所への導入を計画しております。



バッテリー式(電動)フォークリフト



稼働中のバッテリー式(電動)ユンボ

### ■ハイブリッド車導入

塵芥車のハイブリッド車を導入しました。こちらも化石燃料の使用削減および排気ガスの問題に効果が期待できます。また、営業車輌については、ほとんどがハイブリッド車を使用しております。



ハイブリッド車輌(塵芥車)

## 生きがい・働きがい



### ■令和6年 ラブアースマインドプロジェクト始動

各事業所より有志を募り50周年イベントに向けてプロジェクトを始動しました。このプロジェクトは50周年を単なるイベントで終わらせるのではなく、これから約50年をどうするのか、どんな会社にしたいのかを考えるプロジェクトです。トップダウンではなく社員の一人ひとりが、からの未来に向けてどんなことをしてどんな会社にしていきたいかなど様々な意見を出し合い、まとめて皆で力を合わせて素晴らしい会社にしていけるようにするプロジェクトです。

[詳細は《3P》特集1 ラブアースマインドプロジェクト](#)



### ■令和5年12月 自衛隊退職予定者のインターンシップの受入

本年も自衛隊退職予定者のインターンシップの受入をさせていただきました。今回の参加者は1名でしたが、会社説明と即場体験をしていただきました。毎年のように弊社への就職を希望して頂ける方がいらっしゃり光栄に思います。現在も3名の方が現場で活躍しております。



### ■地元香川県のプロスポーツチームを通じて地方創生

地元香川県で活躍するプロスポーツチームを通じて地元の発展や子供たちの育成活動に協賛をさせてもらっています。地域貢献活動への協力や、福利厚生として観戦チケットを社員の家族へプレゼントさせてもらっています。スポーツを通して地方創生に貢献できればと考えております。



## CSRの実現

### ■ 地域清掃

廃棄物処理業は地元住民の方たちのご理解とご協力がなければ成り立ちません。各所に拠点のある弊社では、各々の自治会様の地域清掃に参加させていただいております。田植え前の溝さらいやお祭り前の草刈りなど地元の方といっしょに作業させて頂いております。



### ■ 令和5年12月 最終処分場予定地の周辺の清掃活動

三豊市財田町にある最終処分場予定地の周辺の清掃活動を実施しました。季節がら側溝が落ち葉で埋もれたり、竹が垂れて視界が悪いところなどもありました。また空き缶やペットボトル、吸い殻なども捨てられており、車通りがそこまで多い所ではないのですが一つ間違えれば事故になってしまふおかしくない状況でした。パブリックの従業員約50名が参加し、4時間かけてコンテナ4台とパッカー車に一杯のごみを集めました。清掃終了後には炊き出しへ豚汁を作り参加者にふるまいました。



### ■ 令和6年6月 財田川でアユの稚魚放流イベントに参加

このたび、香川県三豊市を流れる財田川で行われたアユの稚魚放流イベントに参加しました。この活動は、天然の魚が住める美しい川を守り、次世代に自然環境の大切さを伝えることを目的に、三豊淡水漁業協同組合の皆さんのが開催されています。当日は、三豊淡水漁業協同組合の方々や地元の園児約20名と一緒に、約3000匹のアユの稚魚を放流しました。川面に跳ねる元気なアユたちを見ながら、子どもたちの笑顔が溢れる時間となりました。私たちもこの活動を通じて、自然豊かな地元を守ることの重要性を改めて実感しました。これからも地域の皆さんとともに、美しい自然を未来へつなぐ取り組みに積極的に関わってまいります。



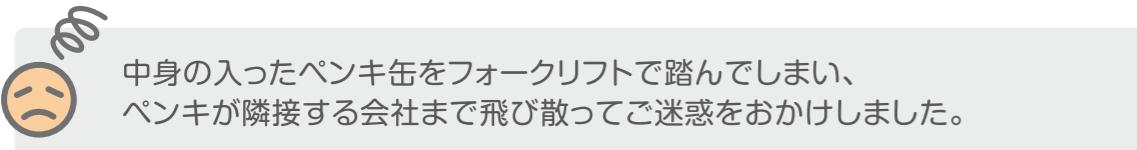
### ■ クヌギの植樹活動で地域環境保全の取り組み

私たちの会社では、地域環境の保全と持続可能な未来のため、処分場周辺の土地に360本のクヌギの木を植樹しました。この活動には、近隣の小学生の皆さんにも参加いただき、環境保全の重要性について学んでいただく機会になりました。植樹活動は、CO<sub>2</sub>の吸収源を増やす効果的な手段のひとつであり、地球温暖化の要因である温室効果ガスを減らすことに貢献します。地域の緑化運動を推進し、植林された樹木が成長することで気候変動の抑制にも役立つと考えています。今後も当社は、地域の皆様と連携しながら環境保全活動に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に向けた歩みを続けてまいります。

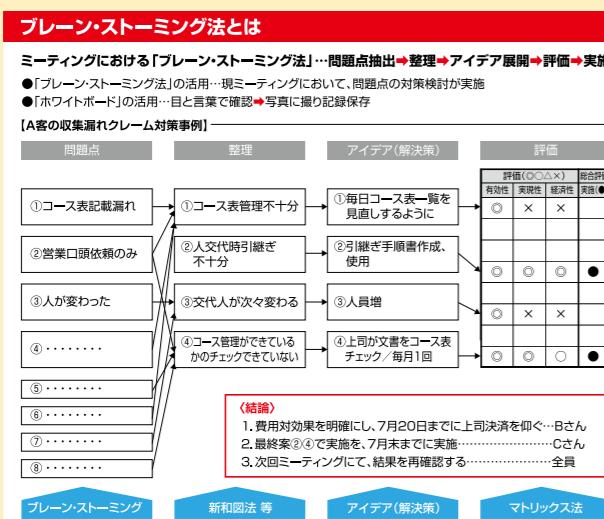


# チャンスコール(クレーム)とその対応

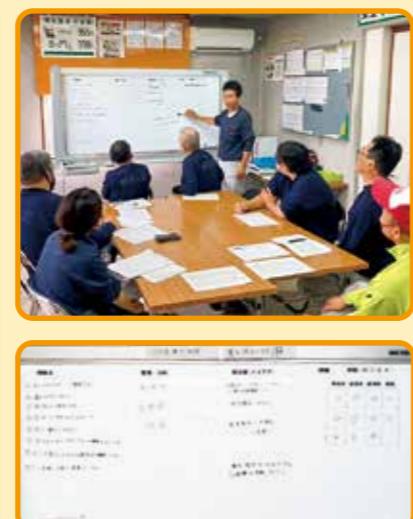
パブリック・グループにお寄せ頂いたクレーム(苦情)を、私達は成長のきっかけとなるチャンスコールと捉えて、前向きに対処させて頂いております。ただ問題を解決するだけではなく、よりお客様にご満足いただけるよう皆様のご意見、ご指導をこれからもよろしくお願い申し上げます。



現場関係者全員を集めてミーティングを行い“ブレーン・ストーミング法”を用いて問題点を洗い出し手順書とルールの見直しを行いました。



※画像は例です。実際のクレームの説明とは異なります。



## 問題点、改善点が3つあがりました。

- その1 まずは、廃棄物の管理が不十分であった。ペンキに限らず当社で処理できない廃棄物などが搬入されることはあり、積替え保管場所は決められています。フォークリフトや重機、人が通れる場所に置いたままにせず、必ず決められた場所に移動し、処分先へ搬出するまで正しく管理する。
- その2 次に情報の共有不足です。飛散の可能性があつたり、危険なものなどが保管してあることを数人の社員だけが知っているだけでは不十分です。作業を行う現場関係者だけでなく搬入するトラックのドライバーや事業所内の全員が情報共有できるように必要な情報は必ず通知するよう徹底しました。
- その3 最後は、近隣の方たちへの配慮ができていませんでした。ペンキが飛散することでどのようなリスクがあるのか。社内での危険や損害だけでなく、近隣への配慮も忘れてはいけません。これは飛散物だけでなく臭気や騒音なども同じです。業務を行っていくうえで、お客様や近隣の方たちの理解が必要です。全社周辺への配慮も忘れないように操業して参ります。

# PUBLIC WAY 2024-25 社会正義への道 | 編集後記 |

本年度も『PUBLIC WAY』をお届けできることに、心より感謝申し上げます。おかげさまで、弊社は創業50年を迎えることができました。この半世紀にわたり、地域に根ざした活動を続け、持続可能な社会の実現に向けて歩んでまいりました。これもひとえに、皆さまの温かいご支援とご愛顧の賜物です。改めて深く感謝申し上げます。

令和6年の幕開けは、大変衝撃的な出来事で始まりました。元旦に発生した能登半島の大地震では、多くの尊い命が失われ、被災地では寒空の下、多くの方がライフラインを断たれた厳しい環境での生活を余儀なくされました。さらに、翌2日には羽田空港で航空機の接触事故が発生し、被災地への救援物資を運搬する予定だった海上保安庁の方々の尊い命が失われました。一方で、民間航空機の乗員・乗客が奇跡的に全員無事救出されたことは、不幸中の幸いでした。被害に遭われた皆さま、事故で亡くなられた方々に心よりお見舞いを申し上げるとともに、新年早々、日頃からの備えの重要性を改めて考えさせられる出来事となりました。

また、能登半島では復興活動が続く中、9月に発生した豪雨災害により、河川の氾濫や土砂崩れが多くの方々の生活を脅かしました。このように頻発する自然災害は、私たちに自然環境といかに共存していくかという意識の重要性を問いかけているように思います。

こうした状況の中、弊社では日々の業務を通じて地球環境を守るためのさまざまな活動に取り組んで参りました。今年も、海ごみ清掃活動や植樹活動を実施し、活動を通じて、次世代を担う子どもたちに「ラブアースマインドプロジェクト」の理念を共感していただけたと感じています。また、地域の皆さまと交流を深める中で、支え合うことの意義を改めて実感いたしました。これらの活動が実現できたのも、ひとえに皆さまのご協力のおかげです。心より御礼申し上げます。

私たちはこれからも、地域の皆さまとともに、次世代に誇れる持続可能な社会の実現を目指して歩み続けます。今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

株式会社パブリック PUBLIC WAY 編集委員会

2024年12月1日

## 本報告書の作成について

本報告書はFSC®認証材および管理原材料から作られた紙と、VOC(揮発性有機化合物)を1%未満に抑えたノンVOCインキを使った環境配慮型印刷物です。また、印刷工程で廃液の出ない「水なし印刷」を採用し、製造のために排出されたCO<sub>2</sub>はカーボン・オフセット・ジャパンを通じてオフセットされています。

できるだけ環境に配慮した作成を試みており、ここではこれらの解説を致します。

本報告書は環境に配慮した印刷で作成しています。



### 水なし印刷

水なし印刷は、印刷時の現像液や印刷時の湿し水を使わず、廃液の処理や湿し水の製造にかかるCO<sub>2</sub>もゼロになる環境にやさしい印刷方式。その水なし印刷による印刷物であることを認証し、製造過程で排出したCO<sub>2</sub>を埋め合わせ(オフセット)、印刷物1部あたりのオフセット量を明記しました。



### ノンVOCインキ

光化学スモッグなど大気汚染の原因や人体に有害なVOC(揮発性有機化合物)を植物油などにおきえ、VOC含有量を1%未満に抑えたインキを使用していることを示すマークです。



### FSC®森林認証紙

世界的な基準のもとで適切に森林管理された認証林や再生資源、およびその他管理原材料からつくられた印刷物であることを示すマークです。